

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要														
(薬学研究科 薬学専攻 博士課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	学術論文講読・演習	1～4通	4				○		15	7	5			
	学術論文作成特論	3前	1			○			15	7	5			
	研究計画立案(リサーチプロポーザル)演習	1前	1				○		15	7	5			
	教育・研究指導演習	1～4通		4			○		15	7	5			
	学術発表演習	3～4通		2			○		15	7	5			
	海外研修I	2後		5				○	1					
	海外研修II	3前		5				○	1					
	実践英語I (TOEFL, TOEIC)	1後		1				○	1					
	実践英語II (TOEFL, TOEIC)	2前		1				○	1					
小計(9科目)			8	16	0		—		15	7	5	0	0	
医療薬学分野特論・演習	薬物治療学特論I	1前		1		○			1					
	薬物治療学演習I	1前		1			○		1					
	薬物治療学特論II	2前		1		○			1	1				オムニバス
	薬物治療学演習II	2前		1			○		1	1				各分野特論は知識習得を目的とする特論と知識の応用を目的とする演習からなるので、両者を連続して同学期に履修する。
	病態生理学特論	1前		1		○			1					
	病態生理学演習	1前		1			○		1					
	薬剤学特論	2前		1		○			1					
	薬剤学演習	2前		1			○		1					
	薬物動態学特論	2後		1		○			1		1			オムニバス
	薬物動態学演習	2後		1			○		1		1			
	薬剤学特論	2前		1		○			2	1	1			オムニバス
	薬剤学演習	2前		1			○		2	1	1			
	医薬品情報学特論	1後		1		○			1		1			オムニバス
	医薬品情報学演習	1後		1			○		1		1			
小計(14科目)		—	0	14	0		—		8	2	3	0	0	
基礎薬学分野特論・演習	病態微生物学・免疫学特論	2前		1		○			2	2				オムニバス
	病態微生物学・免疫学演習	2前		1			○		2	2				
	衛生科学特論	1後		1		○			1	1				オムニバス
	衛生科学演習	1後		1			○		1	1				
	分析化学特論	1後		1		○			2	1	1			オムニバス
	分析化学演習	1後		1			○		2	1	1			
	天然薬物学特論	2後		1		○			1		1			オムニバス
	天然薬物学演習	2後		1			○		1		1			
	分子病態学特論	1前		1		○			1	1				オムニバス
	分子病態学演習	1前		1			○		1	1				
小計(10科目)		—	0	10	0		—		7	5	2	0	0	
薬学課題研究	1～4通		20				○	15						※演習 課題研究の内10単位までは学外で実施可能
小計(1科目)		—	20	0	0		—	15	0	0	0	0		
合計(34科目)		—	28	40	0		—	15	7	5	0	0		
学位または称号	博士(薬学)		学位又は学科の分野			薬学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
大学院に4年以上在学し、必修科目28単位、選択科目は12単位以上、合計40単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、本大学院の行う博士論文の審査及び試験に合格すること。ただし、選択科目の履修においては、医療薬学分野特論・演習または基礎薬学分野特論・演習から自分が所属する研究室関連科目を最低2単位取得すること。						1学年の学期区分			2学期					
						1学期の授業期間			15週					
						1時限の授業時間			90分					